

.2010年1月11日

出張報告書

京都FD開発推進センター

深野 政之

日程：2010年1月9日(土) 13:00~17:30

行事名：青山学院大学第4回現代GPフォーラム

出張先：青山学院大学（東京都渋谷区）

参加者：深野、川面

プログラム

- ・基調講演：「新時代のFDデザインを考える」川島啓二先生（国立教育政策研究所）
- ・取組紹介：「現代GP3年間の総括」佐藤万知（HiRC客員研究員）
- ・研究報告：「実践プログラムの企画から効果検証まで」松本喜以子（HiRC客員研究員）
- ・2009年度活動報告ポスター展示
- ・活動体験：「ミニ実践プログラム」現代GPチーム一同
- ・特別講演：「実践プログラムを受けて」井上義比古先生（東北学院大学法学部）

取組紹介・研究報告

青山学院大学による取り組み「ICT活用教育のFD/SDプログラム」は、2007年に現代GPに採択されて以来、ICT活用教育の質向上を実現するために、同大学ヒューマン・イノベーション研究センターを中心に、全学的な協力体制を築いて研修プログラムを開発してきた。

取り組み紹介と研究報告では、パワーポイントなどのICTソフトウェアの活用方法の講習会を教員、職員を問わず数度にわたって開催した事例、eラーニングのための著作権セミナーを開催した事例、eラーニングと講習会を併用したブレンディッド・ラーニングの事例などが紹介され、それらの取り組みのコンセプト、開発手法に関して報告が行なわれた。

報告者の所感

青山学院大学での取り組み、事業開発の中心となっている客員研究員数名は、学内他部署または他大学に本籍を置き、研究センターでの週1回の定例ミーティングを軸にさまざまな行事、教材作成、学内外の調整を行なっているとのことであった。

キャラクターを使った親しみやすい教材開発や、2名の客員研究員による楽しい研修会の進行は非常に興味深く、本事業の参考になるものであった。

とはいえGP最終年度において3年間の総括を行なうとのことであったが、取り組み全体の総括にまでは話が及ばなかった。また現時点で、パワーポイントの利用をもってICT活用教育とすること、パワーポイントの講習会を学内で開催すること、研究センター教員ではなく客員研究員による事業推進など、いくつかの疑問点が残ったので、時期を改めて青山学院大学での成果を確認することにしたい。

以上